



NME News

栄養経営士のための情報紙

2024
7月号

●発行
一般社団法人
日本栄養経営実践協会 (JANMP)
〒104-0032
東京都中央区八丁堀3-20-5
S-GATE八丁堀9階
●制作
株式会社日本医療企画

お問い合わせ先 / 一般社団法人 日本栄養経営実践協会 事務局 TEL.03-3553-2903 FAX.03-3553-2904 <http://nutrition-management.jp>

2024年「栄養経営士」基礎講習 福岡会場開催 今求められる栄養部門改革

マネジメント能力を身につけ 栄養経営の第一歩を踏み出そう

日本栄養経営実践協会主催の「栄養経営士」資格認定基礎講習(以下、基礎講習)福岡会場が7月21日(日)に行われた。会場では宮澤靖代表理事が講師として登壇、会場とオンラインで参加している受講者たちと、これからの管理栄養士のあり方と栄養経営の考え方について講義を行った。

**管理栄養士が病棟に
出る理由を知ろう**
基礎講習は「栄養経営士」資格認定試験の受験要件であり、本協会の宮澤代表理事が直接、受講者に「栄養経営」という考え方を伝え、これからの管理栄養士は何を考えてどう動くべきかを話す場である。

冒頭に宮澤代表理事は「なぜ管理栄養士が病棟に行かなくてはならないのか」と受講者に問いかけ、その理由として「チーム医療の

効果」「ビジネスモデルの変化」「医療経済的効果」の3つを紹介した。
次に、事前課題にもなっていた「自分が勤める栄養部門の現状分析」を受講者と一緒に行った。急性期、ケアミックス、特養とそれぞれ特性が違う職場の受講者から話を聞き、その施設ならではの悩みや課題と、その解決法をヒアリングしながら探っていった。

普段交流のない他施設の状況や悩みを知る
こととはとても貴重な経験である。きつと参加者のこれからのキャリアに役に立つだろう。

課題の解決方法を栄養経営の視点で考える
午後からは宮澤代表理事が勤務する東京医科大学病院の具体例を挙げつつ、管理栄養士が病棟に出る必要性を再度説明した。

その後は栄養部門運営において重要な業務マネジメントやスタッフ育成について解説。
また、治療成績を上げるには基礎医学の習得が必要だと説き、勉強会の有用性を訴えて、基礎講習は終了した。

給食経営の問題や病棟常駐等、仕事は増えるが人員が増えないというジレンマで、疲弊する栄養部門は多い。ぜひ栄養経営の視点で身につけ、部門改革に取り組んでいただきたい。
★今年度は11月の東京会場が最後になります。会員は特別価格で参加可能ですので、ぜひご参加ください！
詳細はこちらから▼

基礎講習福岡会場 参加者のレポートより

講義を聞きながら、宮澤先生も最初からうまくできていたというよりは、常に栄養部門の課題を見つけて取り組まれてこられたのだと心打たれました。今後は私自身も部署の課題に対してさまざまな角度から考え、人手不足や必要な業務に対して選択と集中といった面から積極的に向き合い、課題解決に向けてどうしていくかを部署のスタッフと一緒に考え、進めていきたいと思えます。(病院勤務・会場)

定年まで7年を切り、最後に何をしていけばよいかと考えて受講しました。講義を聞いて、今まで自分がやってきたことが間違っていなかったことや、見失っていたこと、考えても見なかったことなど、本当に多くの気づきがあり、感謝しかありません。とくに「私が部下に対して心がけている10か条」には、なぜか涙があふれてしまいました。まず試験にトライし、私の次の世代がやりがいのある、誇れる本来の管理栄養業務ができる環境をつくっていきたくて改めて感じさせていただきました。ありがとうございました。(病院勤務・会場)

今後の栄養科をどのように考えていくべきかを考える機会となった。10年後にも現在の病院で働き続けたいと皆が思えるような栄養科にしたい。今まで栄養科のビジョンが明確ではなかったため、目標やゴールをどこに設定すれば良いかわからなかった。本講習を受けたことで、ビジョン策定の重要性がわかったので考えていきたいと思う。(病院勤務・WEB)

宮澤先生のお話を聞き、自分たちの職場に何が足りないのか、何が必要なのかを具体的に考えることができました。この基礎講習は栄養経営士のためのものですが、私は自分の部署のスタッフ全員に受講してもらいたい内容だと感じました。ぜひ他のスタッフも受講させたいと思えます。「できない」と思っているだけでは何も変わりません。変わるために、どうすれば良いかを考え、行動していきたいと思えます。皆さんの気づきをありがとうございました。(病院勤務・WEB)

「栄養経営士」資格認定基礎講習

資格認定試験の受験前に、「栄養経営」という考え方を理解するために受講いただく講習です。本講習の受講が、栄養経営士資格認定試験の受験要件となります。

DVD視聴による受講も可能!
★3枚組、特典映像付き★

栄養経営士も会員価格で受講できます!
(こんな方におすすめ)
・DVD受講だったので、会場受講をしてみたい
・栄養経営士の方向性を、改めて確認したい
・栄養経営士として、もう一度、話を聞きたい ……

講習内容
オリエンテーション。
「栄養経営士」に必要な能力について

1. なぜ、今栄養部門が重要になっているのか
2. 自分が勤める栄養部門の現状分析
3. 具体的な目標設定と達成に向けた実践的アプローチ
4. 部門の業務の質を高めるためのアウトカム指標とは
5. 「栄養経営士」に求められる教育と人事能力
6. 病態把握能力と臨床栄養教育

■講師：宮澤 靖 代表理事ほか
■受講料(会場、DVDとも)：8,500円(税込)
■時間：10:00～17:00(予定)

会員価格
DVD 3,850円
会場 5,100円

2024年度 日程決定!

会場	日程
大阪	終了しました 9日(日)
福岡	終了しました 21日(日)
東京	11月17日(日)

受講方法
①会場②Web(オンライン)
詳細・お申込みはこちらで
ご確認ください!▶



支部News
九州支部

栄養管理がカギとなる腎・肝臓疾患を基礎から講義

管理栄養士のための基礎医学講座

～CKD&肝硬変編～

日本栄養経営実践協会九州支部は7月27日(土)、「CKD(Chronic Kidney Disease:慢性腎臓病)&肝硬変」をテーマとした「管理栄養士のための基礎医学講座」を開催しました。この講座は、管理栄養士が業務を行う上で必要な基礎的医学の知識習得を目的としており、年に2回開催しています。講師は北九州宗像病院の医師である三浦公志郎氏が務め、現地会場とライブ配信のハイブリッドで行いました。

腎・肝臓疾患によって変化する栄養状態を振り返る

基礎医学講座では各疾病のガイドランをベースにしており、今回もCKD、肝硬変ともにガイドランに沿った講義を行いました。最新のガイドランを元にした基礎的な内容は、受講生から「なんとなく理解していた情報を整理することができた」と毎回好評となっています。

三浦氏は午前中にCKD、午後には肝硬変を中心に講義を行いました。まず腎臓の解剖と生理機能、慢性腎不全とCKDの基礎的な部分を説明しました。さらに理解の助けとして、三浦氏の私見と前置きしながら、数多くある腎疾患を主な分類として、CKD/腎不全、ネフローゼ症候群、腎炎症候群の3つに分けました。

CKD/腎不全になりやすいものとして、糖尿病性腎症、IgA腎症、痛風腎ループス腎炎をあげました。ループス腎炎は、自己免疫疾患である全身性エリテマトーデスの合併症のことです。

また、栄養管理において必要な、腎機能低下によって血液中の栄養がどのように増減するのかについてまとめ、詳しく説明しました。

午後の肝硬変では、まず肝臓に関する血液検査について整理し、肝臓に関係している逸脱酵素を中心に説明しました。次に肝硬変の原因となるウイルス性肝炎、慢性肝炎などについて解説しました。現状、肝硬変の原因はC型が最多ですが、最近増加しているNASHについても改めて紹介しました。NASHは非可逆性ですが、その手前の飲酒・食事に関連のあるNAFLDの状態であれば可逆性なので、栄養管理が大事と伝えました。



腎臓と肝臓に関連 腎症候群について紹介

今回は、腎臓と肝臓に関連する疾患である肝腎症候群についても言及しました。三浦氏は、診断基準として以下の6点を挙げました。

1. 腹水を伴う肝硬変である
 2. 血清クレアチニン値が1.5 mg/dLを超える
 3. 少なくとも2日以上利尿剤の中止と、アルブミンによる容量負荷によっても血清クレアチニン値が改善しない(このときのアルブミン投与量は1g/kg/日が推奨される)
 4. ショック状態ではない
 5. 現在あるいは最近、腎毒性薬が使用されていない
 6. 腎実質障害が認められず、尿蛋白(500 mg/日)、顕微鏡的血尿(50/hpf以上)、および超音波検査における腎の異常を腎実質障害とする
- 肝腎症候群は、そうでない肝硬変に比べて予後不良となっており、基準を把握しておくことが必要です。

講義の残り30分間は質問タイムとし、受講生から多くの質問があがりました。「患者さんの対応で、多職種間のコメディカル同士の価値観の差が生じるときは、どのように対応すればよいか?」という問いに対して、三浦氏は「院内で医師を中心に意向や今までの経験則が固まっているかもしれない。私が管理栄養士だったら、やはりガイドラインからエビデンスを示すと思う」と答えました。

受講生からは「私たち目線で進めていただき、わかりやすい。病棟でのカンファレンスや、患者様との関わりにちょっと自信が持てた」と、日々の業務の自信につながっているようでした。

管理栄養士の職域を広げ、地位を高めるために(201)

「栄養」は、「教育」と並んで、誰にとっても身近。身近だから、看護師も、薬剤師も、調理師も、誰もが自分のやり方「オレ流」を持っていて、つい口を出しやすい。それぞれの職種が「栄養は、自分にもできる」と思っている。栄養を軽んじる医師も少なくない。しかし、「栄養」は身近でありながら実は専門的にはとても難しい。「栄養」は奥が深く、個々の患者に合わせた栄養を考えることは容易でなく、管理栄養士にしかできないことも多い。だからこそ、それをもっとアピールしなくてはならない。

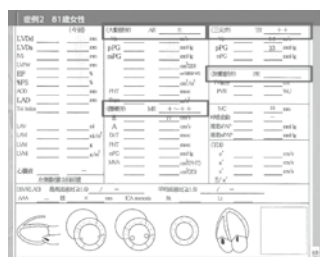
- ✓ 勉強: ガイドラインや論文(特に英語)を読む(エビデンス)。学会発表する。論文を書く。修士、博士をとる。まずは、学会へ行こう!!
- ✓ 運動療法
- ✓ 心理
- ✓ 食事介助
- ✓ 便の観察
- ✓ 訪問栄養指導
- ✓ 救急外来
- ✓ 専門性の確立

三浦氏は講義で管理栄養士に職域を広げてほしいと訴えた

日本ヘルスケア経営学院WEB講座 随時受講受付中!

栄養経営特別セミナー 症例検討 [公開講座]WEBセミナー

「チーム医療に参画する為を知っておきたい知識」



- 講義内容**
- ① Evidenceで見る(診る) 栄養サポートの重要性(26:35)
 - ② 症例1:78歳女性の場合(36:33)
 - ③ 症例2:81歳女性の場合(36:40)

- 講師 宮澤靖 / 一般社団法人日本栄養経営実践協会 代表理事、東京医科大学病院 栄養管理科 科長
- 講義時間 約100分(全3動画)
- 受講料 4,400円(税込)
- 受講期間 14日間

宮澤 靖

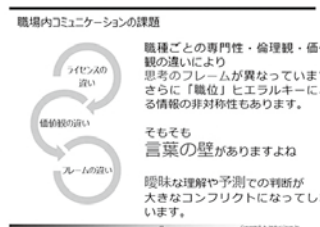
日本栄養経営実践協会代表理事

栄養経営士には「経営」と「臨床」の大きな二本の柱があります。今まで協会ではマネジメントに軸足を置いた活動が多かったのですが、これからは臨床にも力を入れていきたいと考えております。この動画内では2つの症例を紹介していますが、私が話していることだけが答えではありません。「答えはベッドサイドにある」ということを忘れずに、参考例として活用してください。この動画を会員の皆様に広くご覧いただき、臨床能力を高めるお手伝いができればと思っております。そして、栄養経営士として「経営」と「臨床」の両軸に足を置き、アクティブに施設内で活躍されることを期待しています。



ハラスメントが起こる仕組みと起こさせない対処法を知り、对患者・職員間のトラブルをなくす!

医療現場のコミュニケーション&ハラスメント対応スキルアップ研修



- 講義内容**
- ① ブランディングの鏡
 - ② 医療現場のトラブル対応
 - ③ 医療現場のハラスメントの仕組みと対処法
 - ④ コミュニケーションスタイルを知ろう
 - ⑤ コミュニケーションスキルアップ

- 講師 石井 富美 / 株式会社メディカルクリエイティブ・多摩大学大学院客員教授
- 講義時間 約50分(8~10分×5動画)
- 受講料 4,400円(税込)
- 受講期間 20日間

視聴方法 パソコン、タブレット、スマートフォン ※OSとブラウザのバージョンは紹介ページでご確認ください

お申込みおよび詳細 <https://hcmi-s.net/weblesson-hcm/>

お問い合わせ先

日本ヘルスケア経営学院 事務局 (株式会社日本医療企画内)

TEL : 03-3553-2862

Mail : healthcare-mgt@jmp.co.jp



★新会員サービス「オンラインサロン」 大好評開催中!

栄養情報連携料、同意の記録と返書は無理のない範囲で対応しよう

本協会の栄養経営士・栄養経営サポーターのみが無料で参加できる「オンラインサロン」。第37回は7月22日(月)18:30より行われました。協会からは宮澤靖代表理事、西岡心大理事、田中智美理事、山下茂子理事が出席し、参加者からの質問に対しみんなで意見を出し合いました。

この日最初の質問は、令和6年度診療報酬改定で新しく追加された栄養情報連携料に関して、「栄養情報を提供するにあたり、患者・家族への同意が必要とありますが、どのように記録していますか? また、返書は出されていますか?」という内容でした。

最初に回答した西岡理事は「当院(長崎リハビリテーション病院)では口頭同意で記録は残していない。返書については、急性期病院から送ってもらうことが多く、算定がついてから量が増えた。送付後に『送りました』と電話をいただくことがかなり増えており、返書は詳細なものを送っていただいたときだけ返している」と受け手に回ることが多い自院の状況を紹介しました。

次に田中理事が回答したのですが、勤務先の手稲溪仁会病院は連携している医療機関と「ID-Link」というシステムでつながっていて、そのシステムでやり取りができるそうです。「ID-Linkをつなぐ時点で同意書を取り、それがカルテの中

に保存されている。個別ではなく、包括の同意書で動く。連携料がつく前からID-Linkで連携は取っていたが、まだ算定は取っておらず、仕組みをつくっている最中。当院から転院の場合は各病棟の担当管理栄養士がそれぞれ転院先に送っているが、同じ病院に何人も転院する場合もあり、毎回では煩雑になる。そのため一度地域の栄養士が集まって話をしてからはじめようと考え、企画しているところ」とのことでした。

宮澤代表理事は「患者さんの同意は署名欄がないのでカルテに記載している。誰の同意を得てどこに送るかを記載しているが、必須ではないので無理に残す必要はないと思う。ただ、当院(東京医科大学病院)では栄養情報提供書もスキャン文書としてカルテに格納されるので、カルテを見ればわかるようになっている。返書は担当管理栄養士が送っており、連絡はほぼ電話。1日に何本も電話のやりとりが発生するが、ルールなのでお互い気遣い、許してもらえる範囲で行っている。通話時間は短く、重要なところだけを抜粋して伝えている」と紹介しました。

「必ず電話かビデオ通話で連絡というのは大変だし、少し逆行している気がする」という田中理事の指摘もありましたが、ルールとなっている以上はお互いに負担にならない程度で進めていくしかなさそうです。

「オンラインサロン」は今後も月に1回のペースで実施する予定です。全国の栄養経営士や理事の先生方と直接交流できる、会員ならではの貴重な機会ですので、ぜひ奮ってご参加ください。

▼7月22日(月)の話題

- ・情報提供時の患者・家族の同意はどう記録してる? 提供されたら返書は送ってる?
- ・食物アレルギーのチェックはどうしてる? ベジタリアンや宗教上の禁忌の対応は?
- ・外来栄養指導の再介入はいつから初回算定にできる?
- ・入退院支援での栄養士の役割は?
- ・部署長として心がけていることを教えて

■栄養経営士 オンラインサロン

- ◇開催日時: 10月28日(月)18:30~20:00
- ◇参加対象: 栄養経営士・栄養経営サポーター
- ◇参加費: 無料
- ◇開催形式: オンライン配信(Zoom)

※お互いの顔を見ながら会話をするので、カメラ・マイク機能が使えるパソコン・タブレット等をご用意ください
 ※後日、アーカイブ配信もあります
 ※個別の症例の相談にはお答えできません

日本栄養経営実践協会 推薦図書

人手不足、食材費・光熱水費の高騰、撤退する給食委託会社…悪化する病院・介護施設の給食経営に改善の指針を示す1冊!

病院・介護給食経営改革

~どうする!? 未来~

病院・介護施設の給食部門ではこれまでの赤字常態化に加え、近年の人手不足と人件費上昇、食材費の高値安定化、光熱水費の不安定化等によりますます追い込まれ、経営が悪化している。

こうした諸問題を解決するためには、現状を打破し、新しい給食システムの構築・経営が不可欠である。

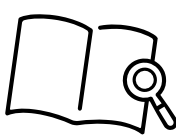
数多くの病院・介護施設の給食システムを構築、厨房改革を行ってきた専門家による、給食問題解決のための決定版!

内容	1 医療・介護の今後の動向	5 キッチンファシリティ計画と厨房設備機器
	2 給食部門の問題点	6 給食管理コンピューターソフト
	3 臨床栄養と給食管理	7 管理栄養士の卒後教育
	4 給食システムソリューション	8 事例集

※資料として再加熱カートの加温データや性能比較表、プラスチックの加温データも掲載

書籍情報

- 監修: 一般社団法人ヘルスケアフードサービスシステム協会
- 著者: 株式会社ミールシステム ほか
- 定価: 3,300円(本体3,000円+税10%)
- 会員価格: 2,640円(本体2,400円+税10%)
- 体裁: B5判/並製/264ページ
- ISBN: 978-4-86729-344-7




お問い合わせ

株式会社日本医療企画

〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-20-5 S-GATE八丁堀

TEL: 03-3553-2885 FAX: 03-3553-2886



栄養経営士が知っておきたい!

イベント 情報掲示板

栄養経営士に求められるのは、さまざまな情報へのアンテナを張り、自身の知識・スキルを常にアップデートしておくこと。そのための貴重な機会である、全国で開催されるイベント情報を、支部の研究会を中心に掲載します。

※新型コロナウイルス感染症対策で、イベントが中止になる場合があります。必ず最新情報を確認してください。

学会情報

第35回 日本糖尿病性腎症研究会

尿病性腎症の発症・進展防止のため、糖尿病と腎臓病の専門家が協力する場として発足した日本糖尿病性腎症研究会の、最先端の研究成果を報告する大会が東京で開催されます(現地開催のみ)。

- 日程：2024年11月30日(土)～12月1日(日)
- 世話人：四方賢一氏(岡山大学名誉教授・特命教授)
- 内容：一般演題(口演)、シンポジウム、教育講演、ワークショップ等
- 会場：都市センターホテル(東京都千代田区平河町2-4-1)
- 参加費：【医療スタッフ】2,000円(不課税)
- お問い合わせ：第35回日本糖尿病性腎症研究会 運営事務局
株式会社メディカル東友 コンベンション事業部
Mail:jdmsg35@mtoyou.jp



セミナー情報

苦手意識を克服しよう!! 今日からはじめられる 急性期・外科領域の栄養サポート

急性期や外科領域では非常にダイナミックな変化が患者さんの身体に生じるため、その変化に迅速に対応することが求められます。この研修会では、患者さんの変化に迅速に対応するための「臨床ならではのポイント」を理解することを目指し、豊富なエピソードを通して実際の場面をイメージしながら学びます。

- 日時：2024年11月9日(土)13:30～18:30 10日(日)9:30～16:00
- 講師：田部大樹氏(社会医療法人近森会 近森病院 臨床栄養部)
- 形式：オンライン(Zoom)
- 定員：23名
- 参加費：29,700円(税込)
- お問い合わせ：有限会社ステップアップ
Mail:stepup@stepup-corp.com



セミナー情報

頸部聴診法から読み解く! 病態別嚥下リハビリのポイント

頸部聴診による異常音から病態を読み解き、現場ですぐに使える訓練方法を紹介。嚥下運動を支える頸部・肩甲帯の筋・関節の知識、姿勢や嚥下能力を改善させるためのストレッチなど、“嚥下の土台からのアプローチ”について、触診や体験実習を豊富に取り入れながら学んでいきます。

- 日程：2024年11月10日、17日(日) 10:00～12:00
※各回内容同じ
- 講師：大野木宏彰氏(嚥下リハサポート代表/言語聴覚士、日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士)
- 形式：オンライン(ライブ配信、アーカイブなし)
- 定員：30名
- 参加費：4,000円(税込)
- お問い合わせ：嚥下リハサポート事務局
Mail:onoki@enge-support.com



協会事務局より

2024年8月期限の会員の皆様へ 【年度会費納入および資格更新のご案内】

本年8月に年度会費・会員資格の有効期限を迎える会員の皆さまに、当協会より、年度会費納入および資格更新のご案内をメールでお送りしております。期限は過ぎておりますが、事務局ではまだ対応しております。対象の方はご確認およびお手続きのほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。
※用紙での手続きを希望される方は、事務局までご連絡ください。

- 年度会費：有効期限が2023年8月20日～2024年8月19日の方
【個人正会員】10,000円
【栄養経営サポーター】8,000円
- 資格更新：会員資格が2021年8月20日～2024年8月19日の方
【個人正会員】15,000円(年度会費込み)
※申請書類・課題をご提出ください。
【栄養経営サポーター】13,000円(年度会費込み)
- お問い合わせ：一般社団法人日本栄養経営実践協会 事務局
TEL:03-3553-2903

2024年「栄養経営士」資格認定試験はIBT方式で開催中です!

「栄養経営士」 資格認定試験

- 試験日:毎日受験可能
- 受験料:9,500円(消費税・システム利用料込み)
- 実施方法:IBT(Internet-Based Testing)方式
※インターネットを経由しスマートフォン、タブレット端末、パソコンを使用して受験
- 受験エントリー期間:通年
- 受験資格:管理栄養士(実務経験2年以上)かつ「栄養経営士」資格認定基礎講習修了者

「栄養経営士」資格認定基礎講習は
WEB・DVDによる受講も可能です!

DVD受講は3枚組、特典映像
「近森病院に学ぶ実践マネジメントのすべて」付き

くわしくは

🔍 栄養経営士

検索



一般社団法人 日本栄養経営実践協会
The Japan Association for Nutritional Management Practice

〒101-0042 東京都中央区八丁堀3-20-5 S-Gate八丁堀9F
TEL:03-3553-2903 FAX:03-3553-2904